

福島相双復興推進機構・第4回畜産セミナー 講演者等プロフィール

【 座 長 】

○ 萬田 富治（まんだ とみはる）氏

[公益社団法人福島相双復興推進機構 技術参与]

農林水産省草地試験場主任研究官(那須)、同北海道農業試験場家畜導入研究室長(芽室)、同北海道農業試験場総合研究第3チーム長(札幌)、同中国農業試験場畜産部長(島根県大田市)、同畜産試験場企画調整部長(つくば)、農研機構畜産草地研究所副所長・草地研究センター長(那須)、北里大学獣医学部教授・附属フィールドサイエンスセンター長、公益財団法人生物科学安全研究所理事長(相模原)等を経て、現在、公益社団法人福島相双復興推進機構技術参与、一般財団法人生物科学安全研究所顧問。

試験場や大学で教育・研究を続けてきた日本における草地畜産のパイオニア、全国で先導的な経営に取り組む生産者と幅広く交流、現場から学ぶを信条とする。

【 講 師 】 <葛尾村の畜産事業者より>

○ 鎌田 毅（かまだ つよし）氏、 会津 勉（あいづ つとむ）氏

[畜産業 株式会社かつらおファーム ヤギ約80頭(葛尾村)]

<鎌田毅氏(代表取締役)>

終戦後にご両親とともに葛尾村大笹地区に入植し開拓に従事。40歳過ぎからご自身で養豚を始められご夫婦で経営、一時は1200頭まで規模を拡大していたが、震災により牧場を閉鎖。

葛尾村の村民帰還に向けた取組が進められる中、ともに村の将来を考える仲間と勉強会や現地見学を重ね、2017年に村民出資によりヤギに関する事業を行う(株)かつらおファームを設立。本年5月には体験型観光牧場「かつらおヤギ広場がらがらどん」を開園し、子供たちと地域を笑顔にしたいと奮闘中。

<会津勉氏(専務取締役)>

東急電鉄株式会社に勤務し、駅前や地方都市のまちづくりプラン作成等に従事。2005年には自ら観光牧場「那須やぎ広場がらがらどん」を設立しヤギ乳生産と乳製品の開発・製造・販売を行う。

震災後、2013年より葛尾村の除染事業に関わり、2015年からは葛尾村役場職員としてインフラ復旧業務に従事。鎌田毅さんほか村内の有志と出会い、那須よりヤギを引き連れて(株)かつらおファーム、「かつらおヤギ広場がらがらどん」設立に参画・貢献。

○ 吉田 健（よしだ つよし）氏

[畜産業、株式会社牛屋 代表取締役 黒毛和牛繁殖約20頭 ヒツジ約100頭(葛尾村)]

震災前、健氏は隣接する田村市と葛尾村の2カ所で、ご両親と計約1200頭の黒毛和牛を飼育。震災後は田村市で牛の飼育を継続。葛尾村の避難指示解除後、ご夫妻で葛尾村に同社を設立、新たに畜舎を建て和牛繁殖を開始。

現在、和牛の他、独自のノウハウで羊を飼育し、“メルティーシープ”というブランド羊肉を生産。この羊肉は葛尾村のふるさと納税返礼品でも取り扱われている。

【 講 師 】 <畜産と地域振興に関わる専門家・関係機関など>

○ 中西 良孝（なかにし よしたか）氏

[鹿児島大学農学部農業生産科学科畜産科学コース 教授]

九州大学農学部助手、鹿児島大学農学部助教授を経て、現在、同大学教授。

全国山羊ネットワーク事務局長、日本畜産学会理事、日本暖地畜産学会副会長を歴任し、現在、全国山羊ネットワーク代表および日本暖地畜産学会会長。

専門は家畜管理学であり、家畜の行動、放牧、未利用資源の飼料化および在来家畜の保護と活用などに関する研究に従事。

○ 松崎 正敏（まつざき まさとし）氏

[弘前大学農学生命科学部国際園芸農学科 教授]

弘前大学大学院農学研究科修了後、農林水産省・畜産試験場（つくば）研究員、九州農業試験場畜産部（熊本）（のち（独）農業技術研究機構九州沖縄農業研究センターに改組）勤務を歴任し、西南暖地の飼料資源評価、肥育牛の産肉生理と肉質の関連を肥育試験により調査。2003年より1年間、英国のローウェット研究所客員研究員として、妊娠母ヒツジの栄養とその子供たちの成長や生理的な体質との関連について研究。

2006年 弘前大学農学生命科学部助教授、2011年より現職。

○ ミヤ マムン 氏

[株式会社 農（みのり） 代表取締役]

2002年、母国バングラディシュより留学生として来日。日本語や経営学について学んだ後、養鶏農家に就職。農業や経営を経験する中で、日本の農業経営における問題・課題を見出し、「日本の農業を企業に変える」という想いのもと、株式会社 農（みのり）を設立。生産から加工・販売までを一貫して行い、安心安全な加工品製造とハラール食品の製造開発を実施。農業の企業化や「ハラール made in JAPAN」ブランドの確立に向け取り組むとともに、日本をはじめアジア諸国の農業と経済の発展を目指す。

○ 山口 隼（やまぐち しゅん）氏

[公益社団法人畜産技術協会 技術普及部緬山羊振興課]

東京農業大学大学院博士前期課程を修了後、2018年4月に公益社団法人畜産技術協会に入社し緬山羊振興部（現：技術普及部）に配属される。緬山羊の登録業務などを実施。「混合発酵飼料を用いた羊肉生産実証事業」の事業推進担当者。